

日時 : 2009年9月18日(金) PM 1:00 ~ PM 5:00
場所 : 塗料報知新聞社 会議室
出席者 : 窪井氏(久保井塗装工業所)、小泉氏(小泉塗装工業所)、小林氏(オーウエル)、
内山氏、白井氏、渡邊顧問(東和酵素)、杉山氏(アネスト岩田)、島田(旭サナック)
アドバイザー:坂井氏(日本工業塗装協同組合連合会技術顧問)
オブザーバー:神田氏(日本工塗連)、平野氏(CEMA)
事務局:有馬弘純氏(塗料報知新聞社) 12名 敬称略

***** 議 題 *****

1. 高度化協議会(環境技術分科会)活動の普及

(1) 中部地方開催セミナー(2009.2 開催)の検討

- ① 分科会より企画案を提出し、愛知工塗連殿にて検討して頂く方向で進める。
 - ・工塗連会長(協議会会長)の山崎会長も実施を期待されており、活動の普及に向けてセミナー開催は有効であるが、実行へのきっかけが無く分科会で企画を立て、山崎会長より愛知工塗連へ依頼する方向とした。
 - ・手順
たたき台作成(島田)→メールにて各位の確認・修正→神田氏・窪井氏→山崎会長
<9月末まで> <10月初旬> <次回分科会まで>
- ② 中部地方開催セミナー内容
 - ・発表内容は6/18と同じとする。
 - ・独立行政法人海洋研究開発機構 渡邊様の基調講演を加える案提示。
(CO₂の25%削減など政府指針に沿った基調講演が得られそうとの意見)
内山氏、渡邊顧問より渡邊先生の予定を確認しておく。(3月は行政が年度末)
- ③ その他
 - ・集客性の意見
中部地域は製販装のつながり強く、100名の集客性は見込めそう。
 - ・講演者の了解
本日参加の窪井氏、小林氏、内山氏はOK。
広瀬氏は山崎会長から神奈川連合へ一報をお願いし、第一塗装工業 早川社長へ連絡するルートを取る。
 - ・日程(講演者の都合)
2月の第3週を除く。候補順は第2週→第1週→第4週。
 - ・費用面
講演者の出張経費 4人×2万円程度=8万円程度。
基調講演 渡邊先生が加われば、その分の経費追加が必要。

(2) 業界関係の参加(予定)

① 独立行政法人海洋研究開発機構 渡邊様の参加

9月のご予定がつかなかった。中部セミナーへの講演依頼をお願いすることとした。
お兄様である東和酵素 顧問渡邊より経緯、略歴など紹介頂いた。

② 日塗工 久米専務理事の参加

9月のご予定がつかなかったため、10月以降で調整する。

(3) 展示会出展

SURTECH 2009 (2009.9.16~18) の紹介 (平野氏、有馬氏)

- ・今年の参加者 初日 1,523 人、二日目 1,877 人、最終日 1,751 人 トータル 5,151 人
 - ・塗装の関係企業や参加者が少なくなっている中、前処理などの情報収集としてはまとまっている。
- 来場者の何人かは足を止めているものの、活動の普及への期待は得られ難い状況。

(4) 一般意見のフィードバックについて

- ・今回の議題にはありませんでしたが、次回以降で検討を進める。

2. 分科会の活動

(1) 現在の活動テーマについて

① 塗料スラッジのリサイクルについて 【検討事項:乾燥工程の確立】

- ・桂精機殿への乾燥装置の進捗。(澤居氏欠席より島田が概略報告)
装置部品準備整う。次回分科会迄に実験を行う予定とのことより、次回に期待。
- ・乾燥装置のコストメリットが課題との意見もあり、中大手向けに適していると位置づけがされた。
- ・中小企業向けの提案
既存設備を改良して行う事例の紹介。(内山氏)
工場の廃熱(ボイラー、乾燥炉、コンプレッサー室etc)を利用した方法で、実際に塗料スラッジの嵩を 1/10 に減らしている企業が紹介された。次回写真提供を依頼した。(内山氏へ)
当分科会でも、モデル工場にて実験を行いたい意見が出され、1つの検討事項として進めることとした。

上記規模別の 2 つの取組みは、今後の活動に大きく影響する、またセミナー発表へも 1 つのテーマとして意見があった。

② その他(塗料転換、洗浄性)について

- ・久米専務理事や塗料メーカーと意見交換の機会を次回以降で実施していく。
- ・第一塗装殿の報告待ちとした。

(2) 新分科会の活動について

① 産廃の出し方

上記スラッジの嵩重量削減が1つの手段。モデル工場での実証と集めた情報を用いて、マニュアル化を行う方向とした。

② 安全対策

- ・CEMAと工塗連で作成してきたリスクアセスメントをベースに分科会活動としてワーキンググループ(WG)を結成させ、実行の母体作りを目指す方向とした。
- ・工塗連側のWGの候補者を窪井氏に依頼。次回参加可能であれば参加して頂くように依頼した。(窪井氏)
- ・昔の安全に関する資料(坂井先生所有)を次回分科会で紹介とした。
窪井氏に事前に貸し出しも合わせてお願いした。
- ・CEMA出版「静電粉体塗装の安全対策」も参考資料となるため、候補者への事情説明などに利用して頂くこととし、CEMA事務局より配布(5冊)することとした。(平野氏)

・手順

- (1) リスクアセスメントや他資料参考
- (2) しくみを検討
- (3) 適任者、メンバーを選定しワーキンググループ活動に移行
- (4) 出版物やHP情報発信可能な形態に仕上げる
- (5) 工塗連の基本安全指針への採用を検討し、業界の安全基盤構築を目指す

③ ゴミ・ブツ対策

- ・現在、東和酵素内山氏にて作成中のものを取り込むこととし、今回は部分的に完成したところまでを紹介して頂くこととした。(前処理、脱脂までの工程)

④ その他

- ・塗装作業のムダ・ムラ排除について、今回は未実施。

3. 次回予定

第17回 環境技術分科会

2009年10月16日(金) 午後13時^{*1} ~ 塗料報知新聞社会議室

※1:日塗工 久米専務理事、独立行政法人海洋研究開発機構 渡邊様の参加が決定の場合、午前10時開催を予定しています。追ってご案内致します。

<予定議題>

- ・中部地方開催セミナー(2009.2開催)の企画案 検討
- ・新分科会 塗装作業の安全対策 ワーキンググループなど協議
- ・スラッジ乾燥工程の報告(澤居氏) 廃熱処理のモデル企業協議
- ・ゴミ・ブツ対策マニュアルの経過報告

下記は予定が決定次第に行います。

- ・久米専務理事との意見交換
- ・独立行政法人海洋研究開発機構 渡邊様の講演と意見交換

————— 以 上 —————